



遙・ひびきスポーツフェスティバルの花形種目クロスカントリー (2015年10月17日)

感謝 水上の友

発行 社会福祉法人
大阪水上隣保館
〒618-0001
大阪府三島郡島本町
山崎5丁目3-18
発行人 黒川 芳 朝
編集 広報委員会
法人事務局 075-961-0711
FAX 075-961-1144
http://www.osakasuijyorinpokan.com/
印刷所 (有)木村桂文社

苦勞の多い人生でしたが

杉山 一郎

九歳の時(小学三年)、父親のギャブルとDVが原因で家庭崩壊し、弟と妹の三人で入所になりました。

それまでは、銀行員の父と母、兄弟三人での生活は不自由なことが多かったのですが、隣保館での生活は戸惑うことも多く、最初は逃げ出したかったのですが自然と生活にも慣れ、楽しく感じるようになりました。

中学生になると作業があり、竹林に土を入れ、春になると管堀りをしたりお風呂を炊くための薪作りなどもしました。特に今でも思い出すのが、当時は水洗トイレではなかったので竹林の肥料として「肥え」を二人で組んで運ぶ作業で、歩く度に身体にかかる事が本当に嫌でたまりませんでした。

日曜日には、遙先生の礼拝もあり、本当にアツという間の六年間でした。卒園後の進路を決める時、高校に行きたくて勉強を頑張ってきた私に、「貴方には親がいるから」と言われ、進学

二〇一六年標語
わたしたちは見えるものではなく、
見えないものに目を注ぎます。
—新約聖書・コロソントの信実の手紙II 四章十八節—

が出来なかった事は辛かったです。卒園後は、職業訓練校の機械科に入りましたが、途中で辞めました。

仕事を探し、定時制高校に理解のある会社に就職しましたが、少しでも給料のいい所でと転職を何度もし、結局高校は卒業出来ませんでした。

タクシーの運転手をしていたとき、毎日新聞の部長さんが乗って来て「タクシーの運転手はいつでも出来る、若い人だから挑戦していく事も大事」と話されました。ちょうど悩んでいた時だった事もあり色々考え、板金工に申込みで就職をし、三十歳の時会社を設立しました。

肉体的な苦勞は、水上隣保館の作業等で鍛えられていたので苦にはならなかったのですが、金銭面での苦勞は大変でした。時には従業員の給料も払えず、生命保険を解約して支払ったこともありました。少し余裕ができた時は従業員の借金の肩代わりをしたこともあります。

社会に出て、学歴社会を知り悩んだこともありました。隣保館で学んだことを忘れずに働きました。

嘘をつかず約束をしたことは守り、嫌な仕事も嫌がらず、人との出会いを大事にして日々働く事で、自然と知らず知らずに生活が楽になりました。

結婚もしましたが、内助の功には恵まれず一人になった今、隣保館の自然環境が忘れられず、同じような処に住みたいと思いついています。

苦しい事の多い人生でしたが、それでも私は楽しかったです。

卒業してからも隣保館によく行きましたが、帰る所がある事の大切さも知りました。

後輩諸君へ
人生は思うより早い、お金や名譽がなくても健康な身体と愛があれば幸せです。
「神は愛なり 愛なき者は神を知らず」
中村館長先生から、私におくっていただいた詞です。
(一九六一年度卒園)

クリスマス

おめでとうございます

苦しみにあったことは 私にとって良いことでした。これによって私は大切なことを学ぶことができました。
—旧約聖書・詩篇 一一九章七十一節—

この一年多くの皆様から賜りました励ましとお支えに心より感謝申し上げます。

二〇一六年が争いのない愛と真実に満ちた一年となりますように心より願い祈っております。
社会福祉法人 大阪水上隣保館

みんなの広場



カット絵・中一 ひばり

音楽クラブ、老人ホーム訪問

遙学園・小六 女子

私は、音楽クラブでサクソスを吹いています。

九月に水無瀬のデイサービスに行つて、えんそうをしました。

おじいちゃん、おばあちゃんが「この歌知ってる」と言つてよろこんでくれました。

毎日の練習は大変だけど、本番は楽しかったです。

マラソン部の合宿に行きました

遙学園・小六 男子

福井県のマラソン大会に参加するので合宿に行きました。

一日目は、トレーニングです。大きなトラックでは、足をきたえるのに何回もとびました。集中力をきたえるのに魚つりもしましたが、ぜんぜんつれませんでした。

二日目の大会では、スタートした時



は追い風だったので早く走れましたが、折り返しの時は、向かい風だったので走るのにえいきようがありました。結果は十位でした。本当は六位以内に入りたかったです。

合宿はとても楽しかったです。

初めての農作業をしました

ひびき・小六 女子

五月にひびきの元先生にさそわれて田植えに行きました。足がすいこまれている感じで気持ち悪かったけど、お米の大切さを知りました。

九月、自分たちで田植えをした稲を刈りに行きました。脱穀もできる稲刈りこき機に乗れて楽しかったです。

私のたんとうだった先生にも会えたいし、とても楽しい思い出になりました。おにぎり、おみそ汁、えだ豆、さつまいもとてもおいしかったです。



瓜田さんの記事を読み心打たれました。よくぞここまでお育てになられたなあと、すばらしい教育がなされていることに感動しました。

大阪市 渡口差知子

▼きらきらした子どもさんたちの歓声が聞こえてくるような水遊びの写真。

この笑顔をささえるのに私どものほんのささやかな寄付が役に立っているのかと思うところこそ有難い思いです。何があっても応援を続けます。

負けないで下さい。

京都市 村松 光雄

▼「水上の友」を拝読させて頂き、丁度反抗期の孫にハラハラ心配しますが園の子どもたちの思春期の正直な感謝と反省する気持ちを知り少しは安心。園の職員の方のように大きな心とこころで待つことにします。

大阪市 由本 清美

▼隣保館を巣立った生徒たちが立派に成長し先生たちに感謝している手紙を拝読し大変嬉しく思います。

益々の発展を期待し応援させて頂きたいと思います。

名古屋市 安形 邦男

▼いつも「水上だより」有難うございます。望んだ訳でもないのに「なんで自分だけが!」と周りを責めずにおれない子どもたちのやり切れなさや辛さを受けとめ、子ども自らが乗り越えていく道のりを共に歩むご苦労は大変と思います。大阪府 大橋貴美子

見学訪問団体芳名

(二〇一四年十一月～二〇一五年十月)

- ・(韓国) 祥明大家族福祉学科 26名
- ・同志社女子中学校・高等学校 33名
- ・(収穫感謝祭)(花の日訪問) 37名
- ・矯正研修所大阪支所 25名
- ・栗東市民生(委)児童(委)協議会 76名
- ・平安女学院大学短期大学部保育科 45名
- ・枚方市民生(委)児童(委)協議会 25名
- ・摂津市民生(委)児童(委)協議会 25名
- ・枚方市主任児童委員会南ブロック 13名
- ・大阪保育福祉専門学校保育科・児童福祉科 22名
- ・VIPアルパインローズ・ピレリッ 19名
- ・大阪女学院高等学校二年生 35名
- ・大阪施設保母の会 39名
- ・サントリー研究センター技術開発センター 17名
- ・樟葉西校区民生委員有志 5名
- ・島本町立第一幼稚園PTA 30名
- ・島本町立小・中学校PTA 36名
- ・山崎幼稚園母の会 32名
- ・是川奨学財団 3名
- ・国際ソロプチミスト千里―豊中 4名
- ・博愛の会 15名

児童養護施設
遙 学 園

サイクリング

八月十六日・十七日の一泊二日の日程で、琵琶湖一周を目標にサイクリングをしました。総走破距離は二七〇kmもあるそうです。出発する前は、高校生活最後の思い出ができれば良いなどの軽い気持ちで参加をしました。

そんな余裕を消すように、一日目はトラブル続きです。出発する前は晴天だった空が急に大雨に変わりました。更に追い討ちをかけるように、自転車がパンクしました。

正直、心はくじけていました。「もう、帰りたい!」と思いつつも自転車を走らせていると、雨の中を休日を使って応援やサポートをしてくれた先生方がいました。

その応援を受け、諦めムードだった僕たちの心は、自分たちだけでなく応援してくれる人のためにも頑張ろうと思えました。

そこからは皆でキャンプ地を目指し自転車をこぎ続けました。

何とかキャンプ地に着くと、先生たちがバーベキューの準備をし、すぐに食べられるようにして待っていてくれました。口では「俺らを待たずに食べようとしてたやろ」とか言っていますが、本当は嬉しくて感謝の気持ち

でいっぱいになりました。

二日目、皆の心は「絶対に一周する」という気持ちでまとまっています。

幸い天気にも恵まれ、疲労はたまっていきましたが、皆が互いを支えあい、琵琶湖一周を成し遂げました。その時の達成感は生涯忘れることはないと思います。

僕は来年春には就職の道に進みます。この先たくさん辛いことや、しんどい時もあると思いますが、その度に今回のサイクリングを思い出して、へこたれずに頑張っていきます。

軽い気持ちで参加したサイクリングも、今では大きな財産になっています。そして、これまでの生活も含めいろんな方達の支えで今の自分があるというのを忘れずに、残りの生活を頑張りたいと思います。(高三 男子)



1日目 虹の琵琶湖を背にツーリング

児童心理治療施設
ひびき

子どもの輝きを求めて

「よいいどん!」ピストルの音と同時に、走り出す子どもたち。六月のある快晴の日、小学校の運動会が行われました。

その中に、私には特別な思いで見守っていた子どもがいました。

施設内学級に通う小学三年生のA君は、普段は甘えん坊で穏やかな性格ですが、いつも指を吸う年相応とは言い難い様子は、周囲の子どもたちからの理解を得られず、友だちと上手に遊べません。また、自分の思い通りにならないと「うおー」と大声で叫び、介入する職員に暴言、時には殴る・蹴るといった暴力がでてしまうため、対応に苦慮していました。

運動会本番を迎えるまでも、施設内学級の授業内でトラブルになり練習に参加できなかつたり、練習のため地域校に向かう送迎車では座席を巡って幾度もトラブルになったりと。運動会に無事に参加できるか、本番直前まで職員も心配していました。

しかし本番では、私たちの心配をよそに颯爽と走るA君、私たちの声援に笑顔で応える余裕の表情です。他の子どもたちと同じように、レーンの上を力いっぱい走る姿に感動し、涙しました。



島本第二小学校運動会 6月6日

子どもたちは、それぞれに生活における「頑張ること(目標)」や、目標に基づいて「お約束」を掲げて生活を送っています。一方、対人トラブルは日々起こり、トラブルの対応に職員は奔走しています。

日常の中、変化が起こることで不安や戸惑いを感じることも多い子どもたちにとって、運動会という大舞台に立つということは、私たちにも想像できないほどの緊張感・不安感があったと思います。それでも一生懸命取り組む子どもたちの粘り強い姿勢に大きく勇気づけられ、そして子どもたちの成長の一幕を見せてもらえることにやりがいを感じられる瞬間でもありました。

どの子どもにも、輝いている瞬間があります。その一瞬一瞬を大切にできる職員でありたいと思います。

(ケアワーカー 田中 綾)

乳 児 院

♥好きな遊び

二歳三か月のR君は、お花が大好きです。園庭で遊んでいてもお花と雑草をたくさん摘んできて「ドーゾー」と渡しに来てくれます。茎が裂けることを最近発見して、興味津々。目を丸くし、鼻の下を伸ばして集中して遊んでいます。興味のあることを沢山遊びながら学んでいるR君です。

(保育士 今道さやか)

♥さすが、関西人!

いつも元気なS君。おむつを交換しに行こうとすると、「いや!」と怒って足をバタバタ。なかなか換えさせてくれません。それでも何とか交換でき、ズボンも履き終え部屋に帰ろうとすると「また「いや!」。動かないので抱っこで連れて行こう!」アカンテ!アカンテ!」の連呼です。保育士から「さすが関西人!」と言われています。

(保育士 柳本澄佳)

♥私って?!

自分の名前を覚え始めたAちゃんでも、みんなのことも「Aちゃん」と笑顔で呼びます。先日、鏡に向かって「Aちゃん!」と声をかけ、鏡の中の自分に向かって「キューッ」としていました。なんてキューッ!

(保育士 雲林院美保)

♥今日は何かな?

食欲旺盛なS君。調理員さんを見つけて、「今日の飯は何?」と聞いてきます。「今日はOOだよ」と伝えると満足そうに、「ここに」。食事が始まる。「おごいね」と言ってくるS君。みんなの「おいしいね」の言葉が聞けるように、献立づくり頑張るね!

(栄養士 山本明美)

♥となりのトトロ

お昼寝のためにベットに入ったMちゃん。なかなか寝てくれないので保育士と一緒にベットに入ると保育士のほうがウトウト…。気づいたら、保育士のおなかを枕にMちゃんもウトウト…。そのままMちゃんは安心したようにぐっすりと眠っていました。

(保育士 坂下美穂)



トトロと仲よく Zzz...

特別養護老人ホーム 弥栄の郷

誇りに思っています

故人となられた入居者のご家族が施設を訪れてくださり、暮らしておられた部屋などを案内していると懐かしみながら昔の思い出話をされ当時は振り返られたりする。

私も、どのように施設でお過ごしになられていたのか、また暮らしの中でどんな出来事が起こったのかプロセスをお話しさせて頂くことがある。

最期の場所、どのように過ごし、生活をしていたのか、そのことにご家族の方は大切な意味を感じておられるのではないだろうか。

穏やかな日常生活をお過ごしになり、最期の時にこの施設に出会えて良かったと、満足して頂けるサービスを創る関わりが私たちには求められていることを強く感じる。

専門職として決して、三大介護(排泄、入浴、食事のお世話)なるものだけが大切なのではなく、心を込めて寄り添い、そのように思っていただけまでの過程、そこに行き着く関わりの方が重要な意味を持つのではないだろうか。食事を介助する、オムツを取り換える、入浴を介助する前と後のいいいな声掛け、関わりがあつてリラックスされるし、安心した気持ちになられる。



心を込めて寄りそう

普通の暮らしをサポートさせて頂き、より良いサービスを提供し、望まれる生活に少しでも近づけるように、身近で私たちが必要な存在として少しでもお役にたてるように、また中には看取り介護を迎えられる時期がある方もおられるだろうし、心を込めて寄り添い、その方にとって必要な存在でいられるように、一つ一つ後悔のない関わりをするために、心を込めて接することで、目には見えない心配りが形となり表に現れ伝わるのだと思う。

(ケアワーカー 臼井剛志)

大阪保育福祉専門学校

HOSEN CUP.

年齢層が幅広い！

保育系の学校の多くは、高校卒業したばかりの女子が大半を占めるイメージですが、本校には短大・大学卒から社会人、専業主婦まで幅広い年齢層の学生が多数在籍。現在、保育科では三十二%、児童福祉科では十六%を占めています。保育・幼児教育・福祉分野は景気動向に左右されない堅実な職業。また、経験のすべてが財産となり、仕事に活かせるのも魅力です。

回りをしながらも、逢先生の一步に続いてくれた学生を紹介します。
(副校長 植田彌生)

●保育科幼児教育コース 二年生 男性
高校卒業後、手に職をつけるため調理の専門学校へ進学。イタリアンやカフェなどで腕を振るうものの、「様々な問題を抱える子どもたちに対して、僕にできることはないか」という気持ちが入学を決意させることに。転身は悩みましたが、勉強にじっくり取り組むうち、むしろ心にゆとりも生まれてきました。それに今までの料理の腕を活かして子どもお菓子作りをするなど、社会経験を経ての進学は決して遠回りじゃないと思っています。

●保育科幼児教育コース 二年生 女性
女手一つで子育てしながら職を転々とするのはパワーがいること。なら、長く働けるように資格を取ろうと、保育者を目指すことに。将来に備えての決断でしたが、前向きに頑張る母の姿を我が子に見せたかったのも大きな理由です。授業は専門的で、理解するのに四苦八苦ですが、「大人になってからも成長できるんだ！」と我ながら驚くことの方が多いです。

●児童福祉科Ⅱ類 二年生 女性

短大の就活中に自分のしたいことを真剣に考える機会を持ち、進学を決意。自分から勉強をしようと思ったのは人生初。母も私の変貌振りに驚いています。三年課程をあえて選んだのは、最後の実習は自分で決めたとこでできるから。年齢を超えて気兼ねなく接することができる友達に囲まれてキャンパスライフを満喫中です。



HOSEN ウッドデッキにて

学校法人 山崎学園 山崎幼稚園

「ほっこ」「にっこ」に決定！

園庭には、およそ二十種類程の木々があります。園に来られた方は豊かな自然に恵まれた園庭を見て「緑が溢れる園庭、とても素敵ですね。子どもたちの顔がとても生き生きとしていますね。」とお褒めの言葉をたくさん頂いております。

子どもたちは、木々を通して四季の移り変わりを感じたり、木の実や枝をままごとのアイテムや、製作物の材料として使ったりと、遊びの中にも自然が取り込まれています。

この木々に更に愛着を持ってもらおうと、二〇一〇年度から、年長児が卒園の記念に木に名前を付ける活動を始めました。担任が園庭から一本の木を選び、各クラスで話し合いをし、決定します。園の玄関口にある桐の木には、「ラッキー」、園庭の真ん中で子どもたちを見守ってくれているケヤキの木は「ぎっきー」、可愛い八重桜の木は「さあらちゃん」、どんぐりのプレセントを届けてくれるクヌギの木は「くーちゃん」と名前が付き、河内長野市にある「花の文化園」の方がご好意で作ってくださった素敵なプレートを付けて親しまれています。

今年も、登園を出迎えてくれている

二本のキンモクセイの木を選びました。「男の子と女の子?」「双子かな?」「双子やったら名字は一緒かな」といった意見が飛び交いました。また、「いい香りがするから好き」「お花をいつも持って帰ってるよ」等、身近にある木ならではのエピソードもたくさん聞かれました。みんな一生懸命考え「きんちゃん」「ティラくん」の他、たくさん名前が挙がりました。

担任団の協議の結果、木の下でほっこりするから「ほっこ」花を見て嬉しい気持ちになるから「にっこ」と命名してくれたものに決定しました。名前が決まったことを各クラスで発表すると、「可愛い名前」「ぴったりの名前だね」と大絶賛でした。それからは園庭に出るたびに名前を呼んだり、木に話しかけたりと、すっかり人気者です。

(会計主事 佐古博子)



「ほっこ」の木の下で

山崎保育園



ひしょうまるう〜どこにいるのお〜

サンキュー ひしょうまる



「ひしょうまるから手紙が来た！」と大喜びの子どもたち。今年度の五歳児は、絵本を通して想像を膨らませ、「島本町」をテーマに活動してきました。島本町の山奥に住む「ひしょうまる（妖怪？）」から手紙が来るたび目を輝かせワクワクドキドキ。保育園でお泊りする「ひしょうまる」に会えること聞き、子どもたちは大喜び。お泊り保育中「いつ来るんやろ」と楽しみにしていました。『友だちの証』の笛を吹き、ひしょうまる登場でみんな大興奮。いつまでも手を振り別れを惜しんでいました。子どもたちの想像力は豊かです。また、仲間と一緒に成長を感じ共に喜び合えた素敵なお泊り保育になりました。

(保育士 高橋達也)

認定こども園 藤の里保育園



大きくな〜れ！

ちいさなたね

九月初旬、地域の方と一緒に二才児さんが園庭の畑に大根とカブの種を蒔きました。日頃、種蒔きをしたことのない子どもたちは、初めは何が行われるか興味深々！ 小さいお手々にこれまた小さい種をギュッと握りしめ、落とさないように慎重に蒔こうとする子どもたち。でも大事に大事に握り過ぎて、「手にくっついて種が落ちない〜！」と言って手のひらにある種を小さな指で一つ一つ掴んで丁寧に「おおきな〜れ！」と魔法をかけて種を蒔いてました。

この水上の友が皆様に届くころには、野菜が収穫できているかな？また、次の号でお知らせできたらなと思います。

(主任 星野智子)

在宅養育支援センター みゆき園



お馬さんごっこ

みんなで遊んだよ

夏休みに入り、ファミリィポートひらかたに出かけて遊ぶイベントを企画しました。外出先で集団行動がとれるのかなと、正直なところ不安でしたが、さすが不安は一掃され、みんな和やかに楽しく遊んでいます。 年上の子が年下の子に「○○くんは僕が見る」「△△くんは僕が担当」など頼もしい会話が飛び交います。ポートには賑やかな笑い声が溢れました。

今回、外出イベントの雰囲気引き込まれていくうちに、「みんなで一緒に遊ぶ」ことの意義の深さを改めて痛感しました。一人で遊ぶことが多かった小学生同士が、お馬さんごっこではしゃいでいた姿が今も目に焼きついています。

(保育士 河村寛子)

ファミリーポートひらかた



お月見団子づくりに挑戦

にこにこ双子ちゃん

今年度ポートでは、多胎児と親のためのプログラム「にこにこ」(一回二時間、月二回)に取り組んでいます。参加者は毎回六〜七組、中心は来春入園する子どもたちです。 双子ちゃんが集まると、参加者だけで二十人前後、子どもたちはとてもパワフルでその動きに目が離せず気をぬくことができませぬ。(一人で見ているお母さんたちは大変と実感！)そこでボランティアさんの力も借りて、「運動会」「夏祭り」「お月見団子づくり」等に、チャレンジできました。目をキラキラ輝かせながら、何度も挑戦する子どもたちの姿とお母さんたちの笑顔に、毎回スタッフが元気をもらっています。

(センター長 坂田恭子)

社会福祉法人 大阪水上隣保館 [児童福祉 85年]

大阪保育福祉専門学校

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-10 TEL.075-962-1115 FAX.075-962-9001

お問い合わせ・
お申し込みは



▶お電話で
0120-919-294

クイック フクシ

▶メールで
pub@o-hosen.ac.jp

ケータイからもOK!

▶QRコードで
ケータイサイトから



10 山崎幼稚園



1 専門学校・本館



2 専門学校・オリーブ館



3 専門学校・中村記念館
みゆき園分室(1F)



4 児童養護施設 遙学園



5 児童心理治療施設 ひびき



11 山崎保育園



ぼんだのいえ(島本町)



12 みゆき園



13 さくら館



藤の里保育園(高槻市)



ファミリーポート
たかつき(高槻市)

ファミリーポート
はるか(高槻市)



豊かな自然環境の中でキリスト教の愛の精神に基づいた人格形成をします

山崎幼稚園

〒618-0001 大阪府三島郡島本町山崎5-3-1 TEL.075-961-3341 FAX.075-961-7296
ホームページ <http://www2.yamazaki-k.e>